**祝合併15周年**

　令和3年3月31日、大崎市が合併してから15年を迎えました。本市の魅力を再発見する機会ととらえ、広報おおさきの紙面リニューアルを行いました。「大崎の宝」をたくさん発信していきます。

　表紙のタイトルロゴは、パタ崎さんをモチーフに、大崎市出身の漫画家 小野洋一郎さんがデザイン。ロゴに何が隠れているか、皆さんで考えてみましょう！

**大崎市誕生15周年記念地域活動支援事業補助金を活用しませんか**

　市では、合併15周年を記念した地域で取り組む事業に対し、補助金を交付して支援します。

　詳しくは、お問い合わせください。

事業期間　令和3年4月1日から令和4年3月31日

対象事業　①地域資源を活用した活動　②地域資源を市の内外に発信する活動 など

補助率　事業費の2分の1以内（上限20万円）

問い合わせ 政策課政策企画担当 23-2129

**新しい副市長です　どうぞよろしくお願いします**

副市長として、平成30年7月から、国土交通省よりお迎えし、市政発展のためご尽力いただいた三保木悦幸氏が国へ帰任され、4月1日付けで尾松智氏が副市長に就任しました。任期は、令和7年3月31日までの4年間となります。

尾松 智（おまつ　さとし）昭和50年生まれ

－略歴－

平成10年4月　建設省九州地方建設局武雄工事事務所工務第一課

平成20年5月　国土交通省近畿地方整備局企画部企画課長

平成26年4月　和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課長

平成28年4月　国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所長

平成30年7月　国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室企画専門官

令和2年4月　公益財団法人 河川財団河川総合研究所次長

広報おおさき4月号 2021 No.181

目次

4 新型コロナウイルスワクチンの接種方法を確認しましょう

6 令和3年度施政方針

8 令和3年度予算のあらまし

11 輝かしい功績をたたえて

14 狂犬病予防注射を受けましょう

16 CITY TOPICS

17 おらほのニュース

18 OSAKI Culture

20 オオサキプレイガイド

22 いよいよ開幕！東北デスティネーションキャンペーン

24 くらしの情報

障がい者や高齢者を支援します

32 子育て支援情報

33 育児相談・乳幼児健診

34 相談コーナー

35 休日当番医　ほか

36 第11回おおさき観光写真コンテスト入賞作品一覧

**パタ崎さんのひと口メモ**

**大崎市内で撮影された**

**ドラマ「ペペロンチーノ」が全国放送されるよ！**

問い合わせ 観光交流課 23-7097

　大崎市内で撮影されたＮＨＫドラマ「ペペロンチーノ」が総合テレビで全国放送されるよ！

　ドラマでは、東日本大震災から10年、被災者の心の葛藤や、復興への歩みが描かれているよ。登場人物が、発災から10年間のそれぞれが秘めた物語を伝えているんだ。

　ドラマは、去年12月、女川町や牡鹿半島を中心に行われて、市内では公営住宅で撮影されたよ。主人公の草彅剛さんが、妻役 吉田羊さんに料理を作るシーンなどを撮影したんだ。

　４月17日（土曜日）午後５時から、ＮＨＫ総合テレビで放送だよ！

　ドラマをきっかけに、震災やその後の復興、これから僕たちにできることを考えてみよう。

写真：「ペペロンチーノ」　NHK総合テレビ　4月17日㈯17時～ 放送

**オオサキワンダーミュージアム**

**人と大自然の青空博物館**

**vol.12世界農業遺産「大崎耕土」地域資源の案内板と紹介映像を制作しました**

問い合わせ　世界農業遺産推進課自然共生推進担当　電話23-2281

　大崎地域世界農業遺産推進協議会では、屋根の無い博物館「フィールドミュージアム」構想のもと、世界農業遺産「大崎耕土」の地域資源を見える化する取り組みを行っています。

　見える化の一環として、すでに設置している30カ所の案内板に加え、世界農業遺産「大崎耕土」を象徴する水田や屋敷林「居久根」の、四季の移ろいや生きものとの関わりなどを紹介する案内板を新たに10カ所設置しました。

　各案内板には、その地域資源を紹介する映像につながるQRコードを掲載していますので、スマートフォンなどにより、現地で動画による説明を視聴することができます。

　そのほか、ラムサール条約湿地でもある蕪栗沼や、大崎地域内にある荒沢湿原、相野沼などの自然を仮想体験できる、360°VR（バーチャルリアリティ）映像を新たに5種類制作しました。図書館や、田尻総合支所に設置してある情報発信コーナーで体験できますので、お立ち寄りの際は、ぜひお試しください。

　これら案内板の設置場所は、パンフレットのほか、大崎耕土ウェブサイトに掲載しています。ぜひ、その地域の魅力を肌で感じられる「青空博物館」を訪れてみませんか。

**市長コラム　志学の十五を迎えて**

　本市が合併により誕生し、3月31日で15年の節目を迎えました。

　数々の困難や、幾多の災害を乗り越え、市民の交流や一体感が醸成され、大崎市発展の基礎、基盤を創り出してまいりました。

　これまでのまちづくりにご尽力いただいた方々への感謝を抱き、新しい時代へのさらなる飛躍に向け「宝の都（くに）・おおさき 魅力“真”発見」をテーマに15周年記念事業などを実施してまいります。

　中学校行事で「立志式」を行っている学校があります。成人式のルーツと言われる「元服式」にならい、将来の夢を誓い合う儀式です。

　また、儒教の創始者 孔子の教えに、有名な「吾、十五にして学に志す。三十にして立つ。」の一説があります。十五歳の時に、自分の求める分野の専門的な勉強を始め、三十歳にして自分を確立する事を意味しております。

　まさに十五の年頃は、志学の時であります。

　大崎市のまちづくりに当てはめると、誕生15周年を迎えたこの時、15年の歩みを振り返り、自立する30年を見据えたまちづくりの道筋を描いていく、天の時であります。

　高い志と、本市の役割を自覚し、まちづくりの指針となる総合計画や、産業振興計画、地方創生総合戦略を、市民協働で学び、策定し、実践してまいります。

　間もなく開始する新型コロナウイルスワクチン接種で、早期に感染の収束を図り、15周年記念の歩みを確かなものにしてまいります。

　安全で、活力ある、希望に満ちたまちづくりにキックオフしてまいりましょう。

大崎市長　伊藤　康志